

令和7年度 第1回門司在宅医療・介護従事者研修会

1. 実施概要 : 講演会 「グリーフってなあに？」

① 実施日時 令和7年8月27日（水） 19時00分～20時30分

② 実施場所 門司区医師会館 3階講堂

③ 参加者

職種	人数
医師	2 名
看護師・准看護師	15 名
ケアマネジャー	19 名
PT・OT	2 名
介護職	5 名
ソーシャルワーカー	3 名
その他	3 名
合計	49 名

所属機関	人数
医療機関	17 名
介護施設	13 名
訪問	13 名
通所	3 名
その他	3 名
合計	49 名

※ 担当理事1名、事務局1名
連携支援センター職員2名含む



④ 内容

時 間	内 容
19:00～19:05	開会/講師紹介（座長：新門司病院 院長 白川 伸一郎先生）
19:05～20:15	講演：「グリーフってなあに？」 講師：医療法人 新田医院 看護師 京都グリーフケア協会認定 グリーフサポーター ELCファシリテーター 川上 理恵先生
20:15	質疑応答・意見発表・まとめ
20:30	閉会



2. アンケート（回収率88%）

1. 本日の研修会について

大変参考になった	38	あまり参考にならなかった	0	
参考になった	4	参考にならなかった	0	普通 0



本日の研修会について
自分のターミナルケアに関わったご利用者を1人1人思い出しながら、色々な話を思い出した。 話をしやすい雰囲気を作れたらいいと思った。
グリーフという言葉は初めて聞きました。死を前にしてなくとも、喪失・悲嘆は誰にでもあること、 傾聴、その人の思いの奥にある思いの大切さを感じました。
声かけの事例もあり、自分ならどう声かけようかと考えさせられました。
苦しみは一人ひとり違うこと、決めつけないことを学んだ。
相手の言葉を待つことが少し苦手だと気がつきました。聴き方や話し方の大切さを勉強しました。
グリーフケアについて学ぶ機会が少なかったため、大変良い学びとなった。
根拠、具体的な内容が示されている話が聞けて、納得できることが多かった。

新田医院の亡くなった方への家族に対してのその後の対応方法が参考になりました。
老いるということ、できなくなることが喪失であるということは大きな気づきとなった。
ちゃんと向き合っているのかな？と自分の行動を思い返していました。
グリーフ 言葉は聞くけれど何かはよくわからなかったのが、とてもよく理解できた。
個別性があること、同じ感じ方ではないと、大切なことをあらためて振り返れた。
お看取りを施設でしており、今もあるので、本人や家族の対応の勉強になりました。
グリーフケアは以前から興味があり京都まで行きたいと考えた事がありました。
子育てに追われていましたが、あと少しで自分の時間も増えてきたので進もうと思いました。
グリーフ…きちんと学び直したいと参加しました。グリーフの範囲が広いとは思わなかった。
看取りについての知識を深める手立てとなればとの思いもありました。
講師のこれまでの経験はすべてが今につながっている、そう感じる研修会でした。

2. 今後の職務にいかせるか

大いに活かせると思う	38	ほとんど活かせないと思う	0
まあまあ活かせると思う	4		

今後の職務に活かせるか
人の気持ちに寄り添うことができたか？を考えて仕事をしていこうと思った。
元気な方、相手でもそうではないこともあるので、ゆっくり話を聞ける状況を作りたい。
日頃、デイケア利用者さんの言葉の奥にある思いを逃さず受け取っていきたいです。
入浴時、ゆっくり話せる時間を大切にしたいと思いました。
分かったつもりの対応になっていることの方が多いのではとも感じました。寄り添うつもりでも、できていない。さらに不安にさせているかもと関わりをどうしようかと不安も出てきた。それでも「まずは聴く」の気持ちで取り組んでみようと思います。
悲嘆している人に向き合い、傾聴すること。その人の周りや過去を見ることを大切にしたい。
ご本人やご家族と関わり方が少し変わってきたと思います。傾聴する内容も考えながら関わりたい。
相手や状況をより深く思い考える視点が広がりました。
会話からの情報収集が必要な事を学びました。相手の支えを探す事を頑張りたいと思います。
グリーフケアについて学ぶことができ沈黙も必要だと思いました。
傾聴する気持ち、態度を大切にしたいです。支えようとする自分が穏やかでいようと思う。
終末期に担当させてもらえることがあるので、すごく引き込まれる内容でした。
在宅でのケアを学べた。病院との連携時に活かせる。
入居者様にも色々な方がいらっしゃるの、今のお話をきいて今後の対応を考えられた。
傾聴→反復を実践していきます。
表面だけでなく、奥深くにあるものを見ていくことの大切さを学べた。
グリーフは奥深い。自分自身の人生、人との関わり、傾聴、背景を知る、大切な事を学んだ。

その方がかかえている悩み、根底にあるものを少しずつ引き出して、本人が受け入れるまで支えていける関わりができればと思いました。
業務で携わる中で無意識に発しているその人を思う言葉が、逆効果になる事もある。ということやそれぞれの価値観や受容の難しさについて改めて考えさせられました。
グリーフケアとは死を前にした人、死別した人に焦点を当てがちだがどの年齢にも応用できると学んだ。
病院で日々、終末期の方、そのご家族と関わるがありますが、「何て言うのが正解なのか」と悩む場面も多くあります。まずは、その人がどうしてそう言ったのか、その言葉の本質は何なのかを考えて傾聴したいと思いました。
5年前に実弟が自死したことやまた、ターミナルの患者さんを数人担当しているため業務を行う中で亡くなったあとの対応…ができないかと日々悩んでました。学ぶことで一歩が踏み出せそうな思いが持てた。

3. 本日の研修会について、ご意見・ご感想をご記入下さい。

研修会に対するご意見やご感想
グリーフケアという奥深い話を聞けて、今後の人との関わり方を見つめていきたいです。
資料をもう一度読み返して、仕事に生かしたいと思います。他職員にも共有します。
とても胸が熱くなる場面がいくつもありました。正解がなくとても難しいと思います
限られた時間の中で援助的コミュニケーションを深めていきたいです。
実践を学べて良かったです。グリーフは奥深い、難しい・・・。
相手のことを決めつけない、分かったつもりは危険。
体験談も交えて話していただき、わかりやすく、理解できました。とても胸に残りました。
少ない時間でもしっかり患者様の声をきいていこうと思いました
自分自身、子供を妊娠中にガンが見つかり、現在も治療しながら働いています。同じ「ガンを患った」という状況でも、その問いの思いや辛かったこと、自分はこう思うなど、やはり異なるなと改めて感じました。その人と話をし、その人を1人の人とし、その人の人生を理解する姿勢で援助ができるように、本日の研修を活かし本当の意味で「寄り添いたい」と思いました。
心が動かされる素敵な研修をありがとうございました。
仕事だけでなく、自分では気づかないグリーフがある事が理解できた。

4. 今後の研修会に対するご意見等

今後の研修会への希望
認知症患者のターミナルケア
同じ内容でもよいので、また聞きたいです！